



一秒でも早く、 医療へつなぐ。

～医療機関との連携強化～

消防救急課 ☎254-1600 ☎254-1607 地域医療推進室 ☎229-3372 ☎229-3018

市民の皆さんが急な病気やケガなどに見舞われ、119番通報をした際、駆け付けた救急車は、平日の昼間であれば、症状の緊急度に応じて救急病院や救命救急センターに向かいます。医療機関が診療時間外となる夜間や土日および祝・休日は、市内8つの病院の連携・協力により救急車を受け入れる「二次救急輪番体制」が整えられています。

本市における救急出動件数は、合併以降増加の一途をたどり、令和5年には過去最多の1万8110件を記録し、令和6年に最も高い水準で推移しています。

これまで増加する救急件数に対応するため、現場に素早く救急車が駆け付け体制の強化に取り組んできました。その取り組みとして出動件数が最も多い中消防署での救急車2隊運用、救急要請が重なることで発生する救急空白地域を防止し、救急車の現場到着時間を短縮するため、久居消防署、中消防署で機動的救急隊(M.O.A.)の運用を開始しました。その結果、119番通報から救急車が現場に到着するまでの時間は、平成23年の平均9.8分から、令和7年には平均8.9分まで短縮されました。

また、心電図を救急車から搬送先の医療機関に伝送するシステムを県内で初めて導入し、治療完了までの時間短縮を図っています。さらに、三重大学医学部附属病院で医師の指導の下、高度な医療に関する研修やドクターカーにも同乗するハイブリッドワークステーションに救急救命士を派遣し、救急救命のスペシャリストの育成に取り組んでいます。

今後も、市民の皆さんが急な病気やケガの際に、素早く救急車が現場に駆け付け、適切な処置および医療機関と連携した救急搬送が行える救急医療体制としていきます。